

平成27年度第1回資産運用委員会 議事要旨

【開催日時】平成27年11月13日（金）15:00～16:00

【開催場所】勤労者退職金共済機構 16階AB会議室

【出席者】村上委員長、江川委員、末永委員、徳島委員

【欠席者】白杵委員長代理

【議事要旨】

1. 委員長の選任

資産運用委員会規程第三条第一項に基づき委員の互選により、村上委員が委員長に選任された。

また、村上委員長が、資産運用委員会規程第三条第三項に基づき、白杵委員を委員長代理に指名した。

なお、本人欠席のため事務局より本人に確認を行うこととした。

☞ 「資産運用委員会規程」は[ここ](#)をご覧ください。

☞ 選任結果（資産運用委員名簿）は[ここ](#)をご覧ください。

2. 委員会議事録作成及び公表要領について

「資産運用委員会議事録作成及び公表要領」が原案どおり了承された。

<主な質問、意見等>

（委員） 議事要旨及び資産運用委員会提出資料の公開時期についてはどのような方針か。

（事務局） 議事要旨は次回委員会での了承後の公開を予定。資料については、公表して差し支えないものは、出来るだけ早く公表する方針。

☞ 制定された「委員会議事録作成及び公表要領」は[ここ](#)をご覧ください。

3. 退職金共済業務に係る業務上の余裕金の運用状況報告

平成27年4月～9月の運用実績について以下のとおり報告を行った。

（中退共給付経理、建退共給付経理・特別給付経理、清退共給付経理・特別給付経理、林退共給付経理）

・中退共給付経理、建退共給付経理・特別給付経理の運用利回りは、27年8月の中国経済の減速による世界経済の先行き不透明感等を背景に内外株式の大幅下落等からマイナスとなった。

・金銭信託（委託運用）の運用状況については、各経理とも対ベンチマーク超過収益率を確保した。

・自家運用は、国債、政府保証債及び金融債を中心に安定的に推移した。

・各資産の構成状況は、全ての経理において基本ポートフォリオの乖離許容幅内に収まっている。

<主な質問、意見等>

（委員） 建退共の基本ポートフォリオの資産クラスにおける「短期資産」の内訳はどのようなものか。

（事務局） 自家運用の短期資産は預金、金銭信託の短期資産はコールローン。

（委員） 建退共の金銭信託部分における外国株式の超過収益率のマイナスは許容範囲内か。

（事務局） 運用実績は短期の動向に拠らず中長期的に評価しており、許容範囲内である。

（委員） 運用結果に関する財務諸表のおよび損益計算書的な開示に加え、リスクの状況についても開示していくことが望ましい。

☞ 資産運用の状況（平成27年4月～9月）は[ここ](#)をご覧ください

4. 今後の諮問等議題について

事務局より今後（平成27年度）の諮問等議題について説明を行った。